

かけはし

—小だより

No.17 23・12・22

2学期の終わりに

校長 大村 亨 夫

12月22日で2学期が終わりました。夏から冬へと季節が変わった83日。私は8月の始業式で、「全力で、最後までやり切る2学期にしよう。」と呼びかけました。1学期、子ども達の様子を見て、本気でがんばる<気力と体力>の不足を感じたからです。がんばることとはどんなことなのか。途中であきらめないとどんな気持ちになるのかを、子ども達に知ってもらいたいと思ったのです。遠くの目標ではなく、とりあえず目の前にある目標に向かうことや、あんな人になりたいというモデルを見つけることを子ども達に薦めました。

そして迎えた2学期の様々な場面で、子ども達は精いっぱい力を発揮してくれました。町陸上やマラソン大会では、最後まで力を振りしぼってゴールにかけこむ姿が見られましたし、一っ子フェスティバルでは、各学年が特徴を出しながら元気に思い切り発表してくれました。練習の成果が見られ、子ども達も満足した表情をしていました。

今回のお便りでは、運動面での成果を中心に紹介します。

第一小では、50m走を春と秋の2回計測します。記録短縮の目標は1～3年が0.4秒、4～6年が0.3秒になっています。この記録を全校で84%の子ども達が達成しました。そして、ほとんどの学年が全国平均を上回ったのです。休み時間の子ども達をみますと、確かに動きが素早くなっています。朝の運動や体育の時間での取り組みが、功を奏

したものと喜んでいきます。

11月に行った鉄棒運動への取り組みも、今年度の新たな試みでした。体育館に鉄棒を設置し、技への挑戦を子ども達に呼びかけました。手に豆をつくりながらがんばった子が、たくさんいました。「できた!」という喜びの声が上がった時、本当に良かったと思いました。できないことができるようになるという出来事。このような小さな感動を積み重ねることで、充実した毎日ができてくることに気付かされた鉄棒強調週間でした。

がんばる自分を発見し、そんな自分を好きになる。「俺、やればできるんだ」と新鮮に驚く。自尊心や自信を育てるには、がんばるための場を与えて、励まし、成功させる必要があります。私は、「がんばる2学期」を通して「自信が育つゆりの里の学び舎」へ一歩でも近づこうと思いました。

さて、学校便り「かけはし」は、2011年最後の号になりました。「読んでいます。」「楽しみにしています。」という声に励まされて、何とか、書きつづけてきました。ご愛読ありがとうございました。名の通り、学校と家庭、地域を結ぶ架け橋になればと願っています。

それでは、みなさまにとって、新しい年が幸せなものでありますように。良いお年を。



鉄棒強調月間で色々な技に挑戦する子どもたち

今年度のほほえみ活動を振り返って

今年度は、昨年度の反省から、置賜農業高等学校飯豊分校の高校生に朝会で呼びかけてもらったり、呼びかけのチラシの配布を2度にしたりして、参加数が減少しないように取り組みました。また、活動内容も見直しを行い、飯豊分校では野菜のほかに工作を取り入れたり、本校でも、新たにクリスマスのミニツリー作りを行ったりしました。

おかげで、参加人数では、平成22年度の延べ約180名を大幅に超え、約300名になっています。また、参加した実数（延べでない人数）では、100名を超えることができました。

ほほえみ活動大好き

6年 佐藤 好郁

私はほほえみ活動が大好きです。1年の頃からずっと行って1回しか休んでいません。

ほほえみ活動では、高校生が優しく遊んでくれたりします。私が楽しかったことは三つあります。

一つ目は、流しそうめんです。上からめんやトマトが流れてきてとても楽しかったです。

二つ目は、野菜の収穫です。どろだらけになりながらも、おいしい野菜がとれて勉強になります。

三つ目は、万華鏡作りです。作るのは大変だったけれど、自分で自分の作ったものを見るのがとてもわくわくして作れたのがとてもうれしかったです。

ほほえみ活動に参加して、いろんな体験ができたのでよかったです。これもほほえみ活動を計画してくれた皆さんのおかげだと感じています。

たのしかったツリーづくり

1年 古山 みゆ

きょうがっこうでツリーを作ってきました。ママと妹とわたしで行ってきました。ももちゃんとひかるちゃんといっしょにツリーを作りました。ビーズを張り付けるのがむずかしかったです。ひかるちゃんとももかちゃんのツリーが上手でした。わたしもかんがえて上手にできました。

前の校長先生がまつぼっくりにみどりで色をぬってくれてすごいとおもいました。たのしかったけれども、むずかしかったです。前の校長先生にあえてよかったなあとおもいました。

ほほえみ活動に参加して

3年保護者 北宮卓さん

今年度もほほえみ活動の内容盛りだくさんで楽しく参加させていただきました。

5月の飯豊分校での農業体験では、飯豊地区の小学生40名以上とその保護者が参加しました。高校生の紙芝居による指導の後、小さなプランターへ苗植えをしました。その後、広い畑で高校生のまねをしながらナスやオクラの定植を行いました。お昼は、分校特製の玄米カレーを仲良く食べることができました。

このような「ほほえみ活動」を通して、校長先生が「かけはし」で紹介してくださった『たくさんの目』を養い、優しさや豊かさの種を育てて欲しいと思います。

最後になりますが、この素晴らしい活動を計画し、ご協力いただきました皆様方に感謝申し上げます。

ほほえみ活動に参加して

1年保護者 佐藤千佳子さん

『七夕』の行事を体験するにより、『七夕』の由来や年中行事の大切さを知ってほしいと思って参加しました。

会場には大きな笹が準備され、短冊を書いたり、七夕飾りを作り、笹につけたりしました。叶うと信じて書いている子ども達の姿を見て、素直に信じる心をいつまでも持ち続けてほしいと思いました。子ども達同士、教え合いながら飾りを作っている姿も見られ、学校での様子が感じられ、よかったです。

紙芝居や天文台での星の観察もあり、七夕の雰囲気十分に味わうことができました。月のクレーターや土星が見られて、子どもも保護者も大興奮でした。

今回、七夕のほほえみ活動へ参加して、七夕の行事や星への興味を深めることができました。活動を開催してくださった、先生方、保護者の方々、本当にありがとうございました。



クリスマスツリーづくり